

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年11月20日

計画の名称	八丁湖公園整備計画											
計画の期間	平成30年度～平成33年度（4年間）											重点配分対象の該当
交付対象	吉見町											
計画の目標 八丁湖公園は開園から30年以上経過しており公園内施設が経年とともに劣化・損耗が進み応急的な改修により対応しているが、耐久年数や補修のサイクルを考慮した効率的な施設管理が求められている。 このようなことから、改築・更新に係るコストの縮減や平準化を図ることを目的として、公園施設長寿命化計画を策定し、また、その計画に基づき公園施設の改修・更新を行い老朽化に起因する事故を未然に防ぎ、安全・安心な公園整備を行う。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	64	A	64	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0%

番号	定量的指標の定義及び算定式 公園施設長寿命化計画により管理される策定対象都市公園の割合を0%（H30当初）から100%（H33末） 割合（%）=（策定都市公園数）/（策定対象都市公園数：1公園）	計画の成果目標（定量的指標）		定量的指標の現況値及び目標値	
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H33末)	
		0%	100%	100%	
1	公園施設長寿命化計画に基づき管理される策定対象都市公園の割合を0%（H30当初）から100%（H33末） 公園施設長寿命化計画により管理される策定対象都市公園割合 割合（%）=（策定都市公園数）/（策定対象都市公園数：1公園）	0%	100%	100%	
2	公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化し緊急度の高い公園施設の改築・更新率を100%（H33末）にする 老朽化し緊急度の高い公園施設の改築・更新率 公園施設の改修・更新率（%）=（改築・更新された公園施設数）/（老朽化し緊急度の高い施設数：2施設）	0%	0%	100%	

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
1. 策定都市公園数	・中間目標値：1公園	・最終目標値：1公園	2. 改築・更新された公園施設数	・最終目標値：2施設								

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

吉見町まち整備課で実施

事後評価の実施時期

令和3年3月31日

公表の方法

吉見町ホームページで公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

八丁湖整備計画に基づき、公園施設長寿命化を平成30年度に策定した。また令和2年度では、老朽化し緊急度の高い護岸、防護柵について、整備計画区間の詳細設計業務委託を行い、区間内の延長37.45mにおいて、護岸と防護柵の整備工事を実施した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

公園長寿命化計画に基づき、改築・更新に係るコストの縮減や平準化を図りながら、引き続き、公園施設の改築・更新を行い、老朽化に起因する事故を未然に防ぎ、安全・安心な公園整備を行う。

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	八丁湖公園施設長寿命化計画の策定		
	最終目標値 100%		
2	最終実績値 100%		
	八丁湖公園整備計画に基づく護岸、防護柵の整備		
2	最終目標値 100%	公園施設長寿命化計画策定後、令和2年度において、計画区域の測量詳細設計業務委託及び護岸整備工事をしたが、計画期間において、事業推進ができなかつたため。	
	最終実績値 20%		